

2023



# 学 校 要 覧



## 愛媛大学教育学部附属特別支援学校

Ehime University School for Students with Special Needs

〒790-0855 松山市持田町1丁目5番22号

TEL (089) 913-7891

FAX (089) 913-7892

ホームページ <https://tokushi.edc.ehime-u.ac.jp>  
Eメール [tokushi@edc.ehime-u.ac.jp](mailto:tokushi@edc.ehime-u.ac.jp)

# 目 次

I	学校概要	2
1	沿革	2
2	愛媛大学附属学校園の理念	5
3	本校の使命	5
4	本校の教育	5
	(1) 学校の教育目標	
	(2) 重点目標	
	(3) 経営方針	
5	学校運営の組織	6
	(1) 教職員の一覧表	6
	(2) 校務分掌	7
	(3) 学校防災全般	8
6	児童生徒数及び各部・学級編制	8
II	教育計画	9
1	教育課程表	9
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
2	指導の形態別週あたり授業時数表	10
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
3	日課表	11
	(1) 小学部	
	(2) 中学部	
	(3) 高等部	
4	年間行事計画	13
5	進路指導（卒業時年度別進路状況）	15
III	教育研究活動	16
1	研究の方針	
2	研究の概要	
IV	教育実習	18
1	年度別学生数	
2	本年度の計画	
V	入学者選考	19
VI	P T A ・教育後援会・親の会	21
VII	津田山実習地・日常生活訓練施設「みかんの家」	22

- 昭和56年11月8日 創立10周年記念式典の挙行 記念誌「あゆみ」を発刊し、学校の歌を制定  
11月30日 スクールバス買い替え
- 昭和57年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下23名となる
- 昭和58年3月30日 津田山実習地に農機具庫、作業教室（プレハブ）移設  
4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下24名となる
- 昭和59年4月1日 第4代校長に塚本三朗教授就任  
定数改善により教官1名増、校長以下25名となる
- 昭和60年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下26名となる
- 昭和62年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下27名となる
- 昭和63年4月1日 第5代校長に井原栄二教授就任
- 平成元年6月1日 津田山実習地に水田2aを造成する
- 平成3年11月24日 創立20周年記念式典を挙げる  
創立20周年記念碑を建立、併せて校旗を制定し、記念誌「あゆみ」を発刊する  
研究の集積として「養護学校の授業を探る」（明治図書）を出版、併せて記念  
に時計を玄関に設置する
- 平成4年4月1日 第6代校長に久保木道子教授就任  
定数改善により教官1名増、校長以下28名となる  
9月1日 津田山実習地に「日常生活訓練施設」着工  
11月20日 スクールバス買い替え
- 平成5年5月14日 日常生活訓練施設の落成式典を挙行し「みかんの家」と命名する
- 平成6年4月1日 第7代校長に井原栄二教授就任  
8月10日 津田山実習地の貯水池改修工事が完成する
- 平成7年4月12日 校舎壁面補修、全面塗装第1期工事が完了する  
4月28日 津田山実習地日常生活訓練施設屋外付帯施設開場式を挙行、「<sup>モッコク庵</sup>啖啄庵」と命名
- 平成8年3月12日 情報学習室を新設し、関連機器を整備する  
3月15日 園芸用温室を設置する  
3月29日 校舎・体育館の全面塗装第2期工事及び南側塀の改修工事を完了する  
4月1日 第8代校長に水町俊郎教授就任
- 平成9年4月1日 定数改善により教官1名増、校長以下29名となる  
11月 学内ネットワークに接続する
- 平成10年1月27日 ホームページを開設する  
4月1日 持田キャンパス、事務一元化開始
- 平成11年3月 給食室改造、ドライシステムとなる  
6月30日 太陽光発電設備が完成する
- 平成12年4月1日 第9代校長に建川博之教授就任
- 平成13年7月 学校安全の為、正門に警備員を配置する  
9月17日 創立30周年記念として「コンビネーション遊具」を設置する  
11月11日 創立30周年記念式典を挙げる
- 平成14年3月14日 記念誌「あゆみ」を発刊する  
3月 正門監視カメラ、生徒教室・特別教室に非常通報装置を設置する  
4月1日 完全学校週5日制が始まる
- 平成15年2月7日 愛媛教育研究大会（養護学校の部）を平成14年度より2月開催として実施  
3月31日 高等部用トイレの新設及び共通・小学部トイレの全面改修を行う  
10月1日 校長事務取扱に金藤泰伸教育学部長就任  
11月1日 第10代校長に山本万喜雄教授就任
- 平成16年3月31日 電気室の全面改修工事、正門改装工事、東塀のフェンス取り付け工事、プール  
観覧席屋根の改修工事完了  
4月1日 国立大学法人愛媛大学教育学部附属養護学校となる
- 平成17年7月2日 井戸水ポンプ設置  
9月 中学部ベランダ全面改修工事、北棟屋上防水工事、小学部屋根塗装  
12月 スクールバス買い替え
- 平成18年9月 緑の少年団活動開始

## 2 愛媛大学附属学校園の理念

愛媛大学附属学校園は、附属高等学校、教育学部附属幼稚園、同小学校、同中学校、同特別支援学校の5校園からなり、その特色と各校の取組を活用して、共通の理念による教育を実践する。

### 【共通教育理念】

「未来を拓く人材の育成」

子どもたち一人一人が能力を十分に発揮することによって自らの人生の可能性を拓くとともに、一人一人の特質を生かしながら未来社会の発展に寄与する。

【養いたい三つの力】 「ともに生きる力」「たくましく挑戦する力」「知を追い求める力」

## 3 本校の使命

学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすことを目的とする。

- 教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行う。
- 教育学部（以下「学部」という。）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施する。
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮する。

## 4 本校の教育

### (1) 学校の教育目標

「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」

#### 【目指す子ども像】

- 自分のよさを生かし、自主的、主体的な生活のできる子ども
- 自分の思いや願いをもち、学校生活、家庭生活、地域生活、職業生活などの多様な生活の場で役割を果たし貢献できる子ども

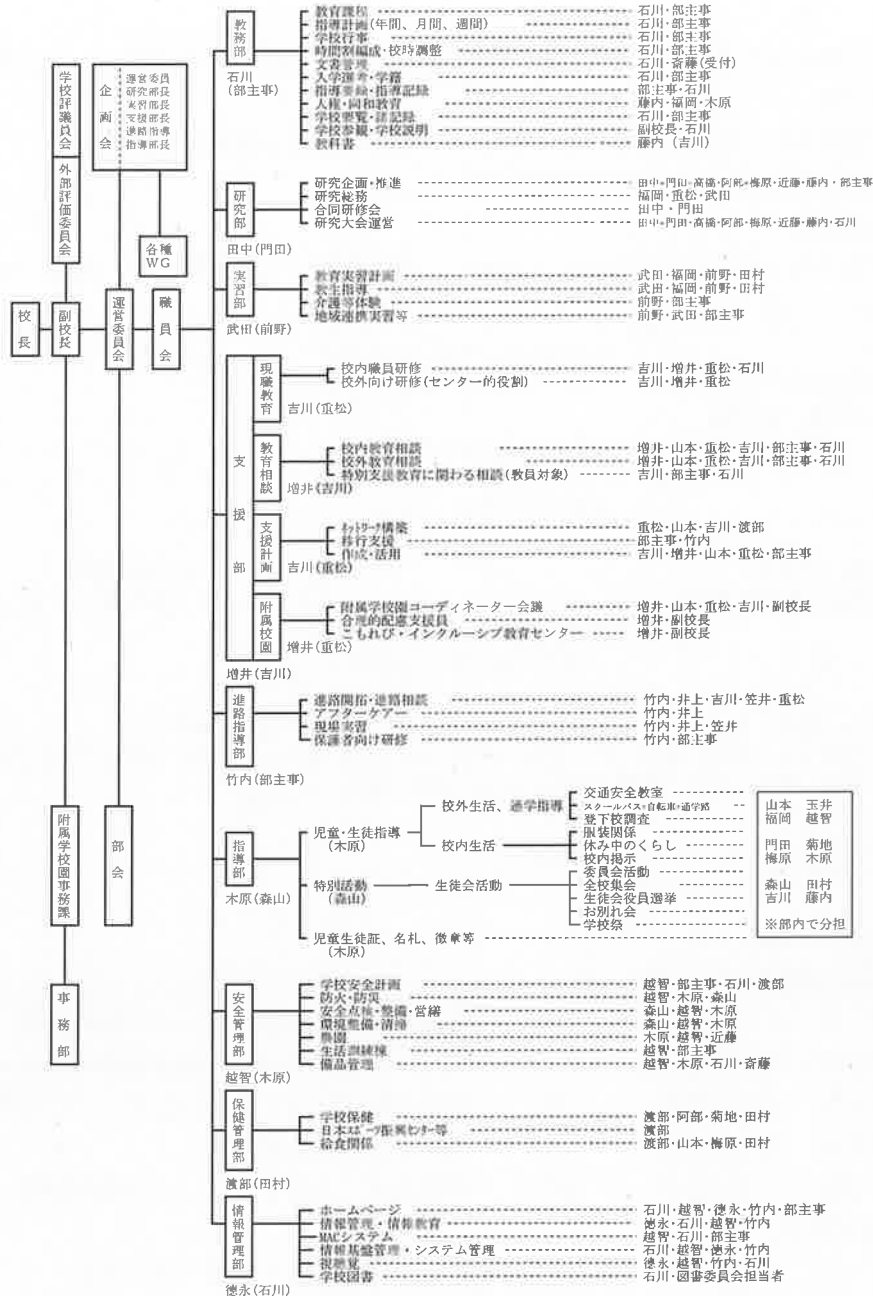
### (2) 重点目標

- ① 子ども一人一人の障がいの状態やニーズを把握して、発達の視点に立った適切な教育的支援を行い、子どもの可能性を最大限に伸ばす。
- ② 小学部・中学部及び高等部12年間の指導の連続性を重視した一貫教育を行い、自立し社会参加、就労するために必要な力を培う。
- ③ 家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を図り、個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、就学前から高等部卒業後までの一貫した自立的支援に努める。

### (3) 経営方針

- ① 授業の質の向上を目指す。  
機能する最小の支援により、子どもが自ら考えて主体的に活動し、子どもの内面が育ち、子どもが変容する授業を行う。
- ② 研究の質の向上を目指す。  
小学部、中学部、高等部12年間の連続性・系統性を重視し、研究過程と結果の見えるストーリー性の高い研究を行う。
- ③ 集団の質の向上を目指す。  
子どもの集団、保護者の集団及び教師の集団の質を高める。
- ④ 連携の質の向上を目指す。  
子どもを中心に据え、子どものための積極的で前向きな支援の連携を行う。

(2) 校務分掌



- 各 種 委 員 会
- 運営委員会
  - 校長・副校長・部主事・教務主任
  - 学校安全委員会
  - いじめ対策委員会
  - いじめ対策委員会
  - 情報教育推進委員会
  - 学校保健委員会
  - 特別支援教育校内委員会
  - 教育課程検討委員会
  - 予算検討委員会
  - 入学選考委員会
  - スクールバス検討委員会
  - プール管理委員会
  - 自己評価委員会
  - 学校評議員会・外部評価委員会
  - 研究推進検討委員会

- 特 別 校 務
- P.T.A. (幹事・副校長 会計実務: 副校長 教務部: 武田 福祉部: 渡部)
  - 教育後援会 (副校長) 会計実務: 副校長
  - 親の会 (副校長) 会計実務: 石川
  - 同窓会 (部主事・武田・竹内・石川)
  - 市担任者会 (山本)
  - 四府連・全府連 (副校長)
  - 教育学区協議会 (副校長・石川・福岡)
  - 特別地区特別支援委員会 (石川)
  - 職員会 (梅原・徳永・森山・木原・渡部)
  - 学校生協 (副校長)
  - 教育会連 (副校長)
  - 高教研 全教 (田村)
  - 本校加工用機械作業主任者 (竹内)
  - 防火管理者 (副校長) 安全管理主任 (越智)
  - 持田地区安全衛生委員会 (石川)
- 代議員 (副校長)  
評議員 (越智)  
※特別支援 (主任) ※法制度課 (主任)  
※青年部 (木原) ※情報宣伝 (主任)  
※特別支援 (主任) ※法制度課 (主任)  
※青年部 (他校に依頼)

研 特別支援教育委員会委員長 (副校長) 事務局長 (玉井)  
事務局: (山本・越智・竹内・石川)

※は附小・中・特支の代表

企画会	1回/月
職員会議	1回/月 (水曜日)
小・中・高等部会	1回/週

(必要に応じて変更有り)

☆ 教科・領域等の各部担当者 (○が代表者)

教科・領域等	小学部	中学部	高等部	教科・領域等	小学部	中学部	高等部	教科・領域等	小学部	中学部	高等部
日常生活の指導	○山本	梅原	近藤	家庭・職業家庭	○増井	重松	吉川	環境教育	○越智	前野	森山
遊びの指導	○越智	—	音楽	—	玉井	○梅原	井上	総合的な学習(探究)の時間	—	○木原	井上
生活単元学習	高橋	○門田	藤内	図工・美術	福岡	○木原	藤内				
作業学習	木 工	—	門田	○近藤	保健体育	阿部	○菊地	森山			
	番 工	—	重松	○井上	道徳	福岡	○笠井	竹内			
	印 刷	—	前野	○武田	自立活動	○山本	菊地	田中			
	園 芸	—	○笠井	田村	交流及び共同学習	藤内	○笠井	井上			
	ク リ ー ン	—	徳永	○森山	視聴覚教育	越智	○徳永	竹内			
農 耕	越智	木原	○近藤	情報教育	○越智	徳永	竹内				

## II 教育計画

### 1 教育課程表

#### (1) 小学部

区分		組・学年		月組		花組		星組	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年		
各教科	生活	300	300	300	300	300	300	300	300
	国語	120	120	145	145	145	145	145	145
	算数	95	95	145	145	145	145	145	145
	音楽	105	105	105	105	105	105	105	105
	図画工作	80	80	110	110	110	110	110	110
	体育	105	105	105	105	105	105	105	105
道徳		35	35	35	35	35	35	35	35
特別活動		35	35	35	35	35	35	35	35
自立活動		35	35	35	35	35	35	35	35
合計		910	910	1015	1015	1015	1015	1015	1015

#### (2) 中学部

区分		組・学年		
		1年	2年	3年
各教科	国語	105	105	105
	社会	105	70	70
	数学	70	70	70
	理科	70	70	70
	音楽	70	70	70
	美術	70	70	70
	保健体育	105	105	105
	職業・家庭	245	280	280
道徳		35	35	35
特別活動		35	35	35
自立活動		35	35	35
総合的な学習の時間		70	70	70
合計		1015	1015	1015

#### (3) 高等部

区分		組・学年		
		1年	2年	3年
必修 修 教科	国語	105(3)	105(3)	105(3)
	社会	70(2)	70(2)	70(2)
	数学	70(2)	70(2)	70(2)
	理科	70(2)	70(2)	70(2)
	音楽	70(2)	70(2)	70(2)
	美術	70(2)	70(2)	70(2)
	保健体育	105(3)	105(3)	105(3)
	職業	280(8)	280(8)	280(8)
	家庭	70(2)	70(2)	70(2)
	小計	910(26)	910(26)	910(26)
道徳		35(1)	35(1)	35(1)
特別活動		35(1)	35(1)	35(1)
自立活動		35(1)	35(1)	35(1)
総合的な探究の時間		35(1)	35(1)	35(1)
合計		1050(30)	1050(30)	1050(30)

3 日課表 (登校 8:40)

(1) 小学部

【月組 (1・2年)】

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	ことば・かず			遊びの指導	ことば・かず
	朝の運動				朝の運動
3	生活単元学習	遊びの指導	音楽	生活単元学習	生活単元学習
4		生活単元学習	生活単元学習		
5	日常生活の指導				音楽
6					日常生活の指導

【花組 (3・4年)・星組 (5・6年)】

校時	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導				
2	ことば・かず			遊びの指導	ことば・かず
	朝の運動				朝の運動
3	生活単元学習	生活単元学習	音楽	生活単元学習	生活単元学習
4			生活単元学習		
5	生活単元学習	生活単元学習	日常生活の指導	生活単元学習	音楽
6	日常生活の指導	日常生活の指導		日常生活の指導	日常生活の指導

4 年間行事計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
1	国	月	木:教育実習事前指導① 下校15:20	国	火	金:始業式 下校11:40
2	国	火:給食停止日 職員会議 PTA役員会	金	回	水	国
3	月:運営委員会 新任者 着任 合同新式	国:憲法記念日	国:全附連総会・全附 P連総会(群馬)	月:[星] 宿泊学習~4日 現場実習報告会	木	回
4	火:企画委員会	国:みどりの日	回	火:給食停止日 ※松山市 養護教諭中堅研修会会場	金	月:9月教育実習~15日 避難訓練(地震・火災)
5	水:職員会議	金:こどもの日	月:現場実習説明会 校納金振替日 プール清掃 教職員健康診断	水:校納金振替日 職員会議	国	火:校納金振替日 給食停止日 PTA役員会
6	木:各種係会 引継ぎ	国	火:給食停止日 プール清掃 予備日 PTA役員会	木:教育実習事前指導③ 下校15:20	国	水:任命式 企画委員会
7	金:各種係会	回	水:学校説明会	金	月	木
8	国	月:校納金振替日	木:現場実習オリエンテーション 学校保健実習	国	火	金:[中・高] 委員会活動
9	回:虹の会(同窓会総会)	火	金:尿検査(二次) 予備日	回	水:研究職員会	国
10	月:職員会議 入学式準備 非常通報装置作動確認訓練	水:[高]胸部CR検査	国:えひめプラスポ 記録会(ボウリング)	月:[高] 下校13:10 個人懇談	木	国
11	火:新式・始業式 入学式 下校11:40	木:尿検査(一次)	回	火:下校13:10 個人懇談	金:山の日	月
12	水	金:尿検査(一次)予備日 親の会懇親会・ PTA歓迎会 <small>※松山市特別支援教育新担当者研修会会場</small>	月:研究職員会	水:下校13:10 個人懇談	国	火
13	木:避難訓練(火災)	国	火:[中] 現場・校内実習~16日	木:教育実習事前指導④ 下校14:00	回	水:職員会議
14	金:任命式	回	水:[高] 現場実習~27日	金:研究職員会	月	木:[高1] 宿泊学習~15日
15	国	月	木	国	火	金
16	回	火:運動会総練習 職員会議	金	回	水	国
17	月:[中・高] 委員会活動 内科検診	水:研究職員会	国	月:海の日	木:企画委員会	回
18	火	木:歯科検診 総練習予備日	回	火:[高3] 宿泊学習~19日	金	月:敬老の日
19	水:研究職員会	金	月:水泳学習開始	水:給食停止日 下校14:00	国	火:給食停止日
20	木:大学附属合同研修会 下校13:10	国	火:[中1] 宿泊学習~21日	木:終業式・表彰式 下校11:40 職員会議	回	水:参観日 [高3] 修学旅行~22日
21	金:企画委員会	日:運動会 下校12:00	水	金:夏季休業~8/31	月	木
22	国	国:繰替休業日	木	国	火	金
23	回:日曜参観日 PTA総会等 下校11:40	火:壮行会	金	回:魚つかみどり大会	水:入学希望者説明会 職員会議	国:秋分の日
24	国:繰替休業日	水:心電図検査 耳鼻咽喉科検診 企画委員会	国	月:避難訓練(みかんの家) 職員作業	木	国
25	火:[高] 家庭訪問・下校13:10 新入生歓迎会	木	回	火	金:研究職員会	月
26	水:家庭訪問・下校13:10 運動会集会 眼科検診・色覚検査	金:尿検査(二次)	月	水	国	火:[高2] 宿泊学習~27日
27	木:家庭訪問・下校13:10 避難訓練(不審者対応)	国:えひめプラスポ 記録会(水泳)	火:給食停止日 [中3] 宿泊学習~28日	木:就職支援ネットワーク会議	回	水
28	金:四附連総会(高松)	回:えひめプラスポ 記録会(陸上等)	水:企画委員会	金	月	木: <small>※教育センター初任者研修会場 下校15:20 [中3] 修学旅行~29日 [月] 宿泊学習~29日</small>
29	国:昭和の日	月:給食停止日	木:教育実習事前指導② 下校15:20	国	火	金
30	回	火	金	回	水	国
31		水:職員会議		月	木	



5 進路指導（卒業時年度別進路状況）

年 度	性 別	中 学 部							高 等 部										
		就 職	本 校 進 学	他 校 進 学	訓 練 校 等	福 祉 施 設	在 宅	そ の 他	計	一般 就 労 (就 職)		訓 練 施 設 ・ 訓 練 校	福 祉 的 就 労 (福 祉 施 設 の 利 用)				在 宅	そ の 他	計
										一 般 企 業	就 労 継 続 A		就 労 移 行	就 労 継 続 B	生 活 介 護	自 立 訓 練			
S47~ H25	男	10	168	4	2	3	5	192	295	106		1	84				11	202	329
	女	5	92	4	1	0	1	103		62		3	52				10	127	
26	男		3					3	6	2			1	1			4	8	
	女		3					3		1			3						4
27	男		4					4	6	4	1			3			8	8	
	女		2					2											0
28	男		3					3	5	2			3	2			7	8	
	女		2					2		1									1
29	男		3					3	6	2		1	1	1			5	8	
	女		3					3			1		1	1					3
30	男		4					4	6	1		1	1	2			5	8	
	女		2					2		1			2						3
R元	男		3					3	6	3	1		1				5	8	
	女		3					3		1	1		1						3
R 2	男		3					3	6	2	1		1				4	8	
	女		3					3		2	1		1						4
R 3	男		4					4	6	2	1	1		1			5	8	
	女		2					2		1	1		1						3
R 4	男		3					3	6	2			1	1			4	8	
	女		3					3		1	1		2						4

※進路先区分の「一般就労（就職）」の中には、福祉施設の利用の就労継続支援A型事業所を含む。

平成17年2月～平成20年1月

子どものニーズにこたえる学校であるために

－連携・協力体制に基づく自閉症児への支援の最適化を目指して－（3か年研究）

研究集録32～34

平成20年2月～平成23年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－キャリア教育の視点から12年間の教育内容の検討－（3か年研究）

研究集録35・36

※ 平成23年2月「将来の『働く生活』を実現する教育－キャリア教育に基づく支援内容・方法の検討」を明治図書より出版（A4版 165頁）

平成23年2月～平成25年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－小・中・高等部12年間の系統的なキャリア教育を推進するための授業づくり－（2か年研究）

研究集録37・38

平成25年2月～平成28年1月

卒業後の「働く生活」を実現するために

－生活意欲・働く意欲を育てる授業づくりを通して、キャリア発達を支援する－（3か年研究）

研究集録39～41

平成28年2月～平成31年1月

地域で存在価値を示すことのできる子どもを育てる

－「自らの価値」を磨き、実感する確かな学びを通して－（3か年研究）

研究集録42～44

平成31年2月～令和4年2月

地域で豊かに生きる子どもを育てる

－地域と連携・協働し、貢献を実感する学びを通して－（3か年研究）

研究集録45～46

令和4年3月～

貢献を実感し、共に育つ子どもの育成

－学びをつなぐカリキュラム・マネジメントを中心に－（3か年研究）

研究集録47～

## V 入学者選考

### 1 本校の使命

本校は、学校教育法の規定及び愛媛大学附属学校園の理念に基づき、知的障がいのある子どもの教育を行うとともに、次の任務を果たすことを目的とする。

- 教育の理論及び実際に関する研究並びにその実証を行うこと
- 教育学部（以下「学部」という）における児童及び生徒の教育に関する研究に協力し、及び学部の計画に従い学生の教育実習や介護等体験を実施すること
- 附属校として実践的研究の成果を生かし、地域における特別支援教育のセンター的機能を発揮すること

### 2 本校の教育方針

本校は、学校の教育目標に「たくましく生きぬく力をもつ子どもの育成～すべての子どもの自立、社会参加、就労の実現を目指す～」を掲げ、自主的、主体的な生活ができ、様々な場で役割を果たし貢献できる子どもを育てる。

### 3 募集人員

（小学部）若干名      （中学部）若干名      （高等部）若干名

### 4 選考

#### (1) 新年度入学者選考

小・中学部は11月上旬、高等部は12月上旬に行う。なお小・中学部については、欠員があれば再募集を行うことがある。

#### (2) 学期途中の転入学者選考

学期途中において定員に欠員のある場合、または、欠員の生じた場合は、転入学者選考を行うことがある。

#### (3) その他の転入学者選考

その他、特に転入学者選考の必要が生じた場合は、職員会議にかけ、校長がこれを決定する。

### 5 応募資格

- (1) 主たる障がいが知的障がいで、それ以外の障がいが特に著しくない者
- (2) 保護者の付添い、または、一人で通学が安全にできる者
- (3) 本校の使命や教育方針を理解し、賛同する保護者の子である者

### 6 願書受付期間

願書受付期間は別に定めるが、概ね選考日の3週間前の4日間とする。

（ただし、学期途中の転入学者選考については3日間とする。）

### 7 応募手続

#### (1) 提出書類

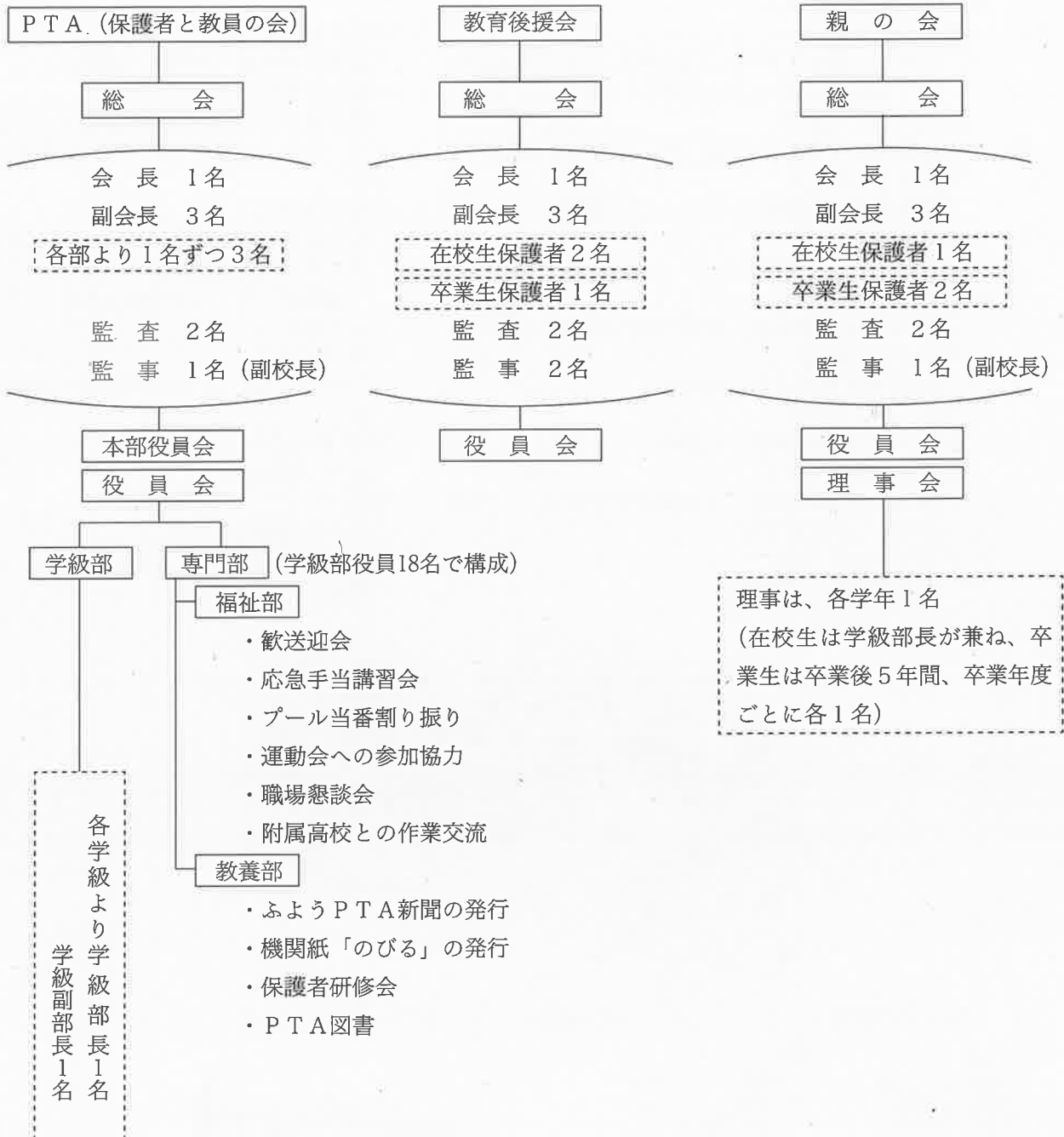
入学願書……………本校所定のものに保護者記入

生育調査書…………… ”

学校（園）長調査書……………本校所定のものに学校（園）にて記入

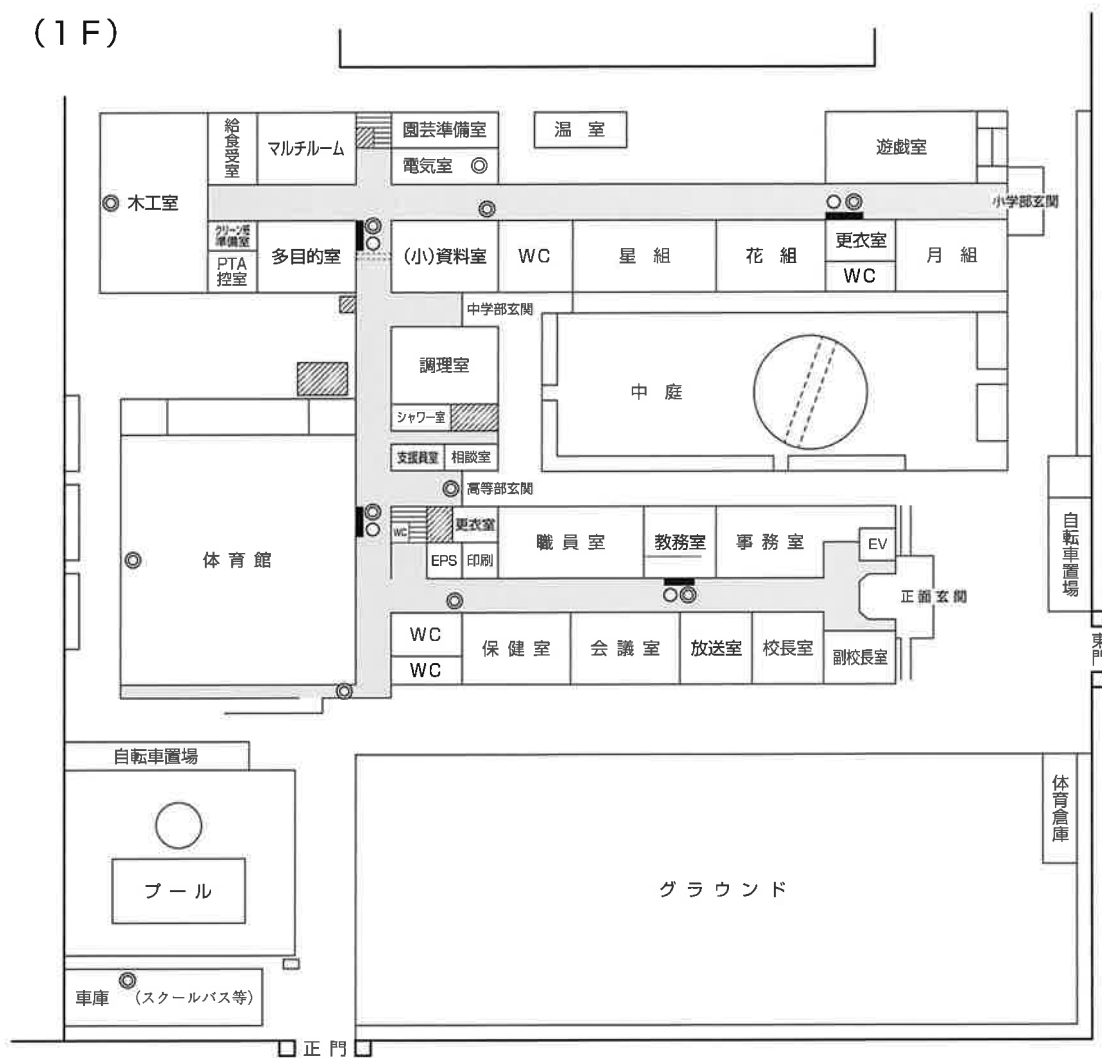
（ただし、未就学（園）児は、教育センターや児童相談所等で記入したもので代えることができる。）

## VI PTA・教育後援会・親の会



# 教室配置図 (防火設備配置図)

(1F)



(2F)

